

もりもり上伊那



Vol.54
令和8年度

主な内容

- 組合員の皆様へ _____ 1
- 第32回通常総代会開催 _____ 2
- 令和7年度決算及び令和8年度計画 _____ 3
- 部門別取扱高の推移 _____ 5
- 組合組織図・新入職員紹介 _____ 6
- 令和7年度各部署の主な事業取組みについて _____ 7~9
- 支障木伐採はおまかせください! _____ 10
- [別紙①] 組合員名義変更について
- [別紙②] 購買品の注文表



第32回 通常総代会



役員による安全パトロール



もりもり上伊那 山の感謝祭



JForest 上伊那森林組合

定休日 土・日・祝日 / 営業時間 8:00~17:00



組合員の皆様へ

上伊那森林組合

代表理事組合長 伊藤 祐三

このたび令和8年5月27日の理事会において選任され、代表理事組合長に就任いたしました。これまで副組合長としての6年間の職務を経て、組合長として組織を担う責任の重さを感じており、身の引き締まる思いです。引き続き組合員のみなさまのご理解ご支援をたまわり、全力を挙げて職務に邁進する所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度は、期末に中東情勢の緊迫化など国際情勢が不安定化し、エネルギー価格や資材価格の動向が不透明となりました。燃料費や輸送費の上昇は、林業・木材産業においても大きな影響を及ぼすことが懸念されますが、一方で、エネルギーの安定確保や再生可能エネルギーへの関心が高まり、木質バイオマスの役割が改めて注目されています。また、令和7年4月からは大阪・関西万博が開催され、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、脱炭素社会や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが国内外から注目を集めました。これにより、国産材利用など、森林資源の有効活用に対する関心も高まりました。

令和7年4月には任期満了に伴う役員改選となり新たな役員体制のもとで組合運営がスタートしました。新体制のもと、地域林業の発展と組合経営の安定に向け、組合員サービスの向上と事業の効率化に取り組みました。職場の安全については労働安全衛生教育に重点的に取り組みました。年間を通じて安全衛生コンサルタントによる指導を仰ぎ、安全衛生に関わる講習会の開催、労働安全衛生推進大会における研修など、安全作業に対する意識の向上に努めました。また、役職員全体でコンプライアンス意識の向上にも努めました。

木材販売事業では、木質バイオマス発電による需要でC材等の価格の底上げはあるものの、建設需要の鈍化は依然として続いており主要な樹種の価格は横ばいからやや弱含みが続いていま

す。前年度より続いている森林整備事業に対する予算の大幅な減少により、搬出間伐等による素材生産量は、受託・買取も含め昨年に比べて大幅に下回る19,282 m³となりました。

また今年度はJクレジットの認証に取り組みました。これまで森林整備を進めてきた団地において435t/CO₂のJクレジットの認証を受け、1件の販売となりました。

今後も、燃料費高騰によるコスト増や買取単価の下落等の不安定要素はありますが、当組合としては、計画的に森林整備を進め、木材の供給に努めてまいります。

木質ペレット燃料関係では、農業用ハウス等でも木質ペレットが利用されるようになってきました。今年の冬は冷え込む日が多く、販売量は過去最高の4,832トンとなりました。農業用ペレット温風機やペレットストーブ設置補助等もあり、一般家庭へのペレットストーブ設置も進んでいます。販売量の拡大に伴い製造ラインの増設を行いました。今後も引き続き木質ペレット燃料の安定供給に努めてまいります。

森林整備部門では、国・県事業を活用し搬出間伐を主体に行いました。また、松くい虫対策事業の樹種転換を実施するとともに、個人宅付近で大きくなりすぎた支障となる木の伐採や、公共工事、鉄道沿線の特殊伐採などにも取り組みました。

組合全体として、事業総取扱高14億9千4百万円、事業利益4千9百万円を計上しました。

激動化した国際情勢が日本の社会経済にも大きな影響を与えており、国産材の需要や価格の推移への不安定要素がある中ではありますが、当組合としては、引き続き次代に繋ぐ森林整備事業を推進する中で、さらなる経営健全化に努め、地域に貢献できる組合を目指し取り組みを進めてまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第32回上伊那森林組合通常総代会開催

令和 8 年 4 月 27 日、伊那市高遠町の高遠さくらホテルにおいて、本人出席 8 名、書面出席 149 名の出席を得て、第 32 回上伊那森林組合通常総代会が開催されました。

開会にあたり、白鳥副組合長より令和 7 年度事業を総括したあいさつがありました。続いて、来賓の上伊那地域振興局長 水上俊治様よりご祝辞をいただいた後、議長に中川村の北島眞さんを選出し、議事に入りました。

第 1 号議案から第 8 号議案及び附帯決議について審議が行われ、すべて賛成多数で承認・可決されました。

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び森林信託事業実績報告書並びに剰余金処分案の承認に関する件

第 1 号議案は賛成多数で承認

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画の設定に関する件

第 2 号議案は賛成多数で可決

第 3 号議案 令和 8 年度における理事及び監事の報酬決定に関する件

第 3 号議案は賛成多数で可決

第 4 号議案 1 組員及び組員以外の者に対する貸付金の最高限度額の決定に関する件

第 4 号議案は賛成多数で可決

第 5 号議案 1 組員の負担する債務保証の最高限度額及び本年度内における債務保証の最高限度額に関する件

第 5 号議案は賛成多数で可決

第 6 号議案 借入金の最高限度額に関する件

第 6 号議案は賛成多数で可決

第 7 号議案 余裕金の預入れ先の決定に関する件

第 7 号議案は賛成多数で可決

第 8 号議案 上伊那森林組合同規約の一部変更に関する件

第 8 号議案は賛成多数で承認

議事終了後、永年勤続表彰が行われ総代会を終了しました。

〈勤続 30 年表彰〉

中部支所	一般職員	伊東	直哉
伊南支所	一般職員	酒井	政喜

〈勤続 20 年表彰〉

特殊伐採推進室	技能職員	北原	勇人
---------	------	----	----



出席者全員で森林組合綱領を唱和



あいさつする白鳥政徳代表理事副組合長



永年勤続表彰を受ける職員

令和7年度決算及び令和8年度計画

令和8年2月28日現在

年度・計画決算別		R7 決算				R8 計画				
部 門 別		取 扱 高	費 用	利 益 額	利益率	取 扱 高	費 用	利 益 額	利益率	
		千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	%	
部 門	指 導	622	3,683	▲3,061	▲492	520	3,410	▲2,890	▲556	
	販 売	406,721	329,017	77,704	19	444,554	400,969	43,585	10	
	加 工	337,553	292,730	44,823	13	330,602	298,602	32,000	10	
	森 林 整 備	森 林 整 備	513,954	492,340	21,614	4	352,206	321,974	30,232	9
		利 用	214,578	187,915	26,663	12	259,430	219,514	39,916	15
		購 買	20,499	16,992	3,507	17	18,084	14,894	3,190	18
		福 利 厚 生	109	0	109	100	200	0	200	100
		金 融	3	0	3	100	3	0	3	100
小 計	749,143	697,247	51,896	7	629,923	556,382	73,541	12		
合 計	1,494,039	1,322,677	171,362	11	1,405,599	1,259,363	146,236	10		
事 業 管 理 費				122,014				129,000		
事 業 利 益				49,348				17,236		
事 業 外 損 益				9,944				9,989		
経 常 利 益				59,292				27,225		
特 別 損 益				2,005				0		
税 引 前 当 期 利 益				61,297				27,225		
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税				11,585				8,167		
当 期 剰 余 金				49,712				19,058		
前 期 繰 越 剰 余 金				12,859				32,571		
当 期 未 処 分 剰 余 金				62,571				51,629		

(受託事業を含む)

令和7年度決算

令和7年度は、中東情勢の緊迫化など国際情勢が不安定化し、エネルギー価格や資材価格の動向が不透明となりました。燃料費や輸送費の上昇は、林業・木材産業においても大きな影響を及ぼすことが懸念されていますが、一方でエネルギーの安定確保や再生可能エネルギーへの関心が高まり、木質バイオマスの役割が改めて注目されています。木材販売事業では、建設需要の鈍化は依然として続いており主要な樹種の価格は横ばいからやや弱含みが続いています。前年度より続いている森林整備事業に対する予算の大幅な減少により、搬出間伐による素材生産量は、受託・買取も含め昨年に比べて大幅に下回る19,282m³となりました。また今年度は、Jクレジットの認証に取り組みました。435t/CO₂の認証を受け1件の販売となりました。木質ペレット燃料関係では、農業用ハウスの利用増加や冬の冷え込みが多く、販売量は過去最高の4,832トンとなりました。販売量の拡大に伴い製造ラインの増設を行いました。森林整備部門では、搬出間伐、保育間伐、樹種転換を主体に行い特殊伐採事業では個人宅の大きくなりすぎた支障となる木の伐採等、公共工事、鉄道沿線の特殊伐採にも取り組みました。

受託事業を含む事業総取扱高14億9,400万円、事業利益4,900万円を計上しました。ここから事業管理費等を差引いた税引前当期利益は6,129万円で、法人税・住民税及び事業税1,158万円を差引いた当期剰余金は4,971万円、前期繰越剰余金1,285万円を加えた当期末処分剰余金は、6,257万円となりました。剰余金処分案については、法定準備金に2,000万円、任意積立金に1,000万円、次期繰越剰余金3,257万円としました。

貸借対照表

令和8年2月28日現在

科 目	内 記	小 計	合 計	科 目	内 記	小 計	合 計
【資産の部】	円	円	円	【負債の部】	円	円	円
流動資産				流動負債			
1 現金		337,499		1 受託販売預り金		71,044,525	
2 預金		385,314,751		2 買掛金		44,141,290	
3 定期預金		100,000,000		3 短期借入金		0	
4 受取手形	0			4 未払金			
貸倒引当金	0	0		(1) 未払金	81,331,718		
5 組合員勘定	236,057,403			(2) 未払消費税	0		
貸倒引当金	▲1,413,511	234,643,892		(3) 未払法人税等	11,585,200	92,916,918	
6 売掛金	53,097,547			5 預り金		46,557,138	
貸倒引当金	▲317,948	52,779,599		6 前受金		9,277,607	
7 未収金				7 預り消費税		7,104,452	
(1) 未収金	2,667,650			8 雑負債			
(2) 未収消費税	16,641,753			(1) 未払費用	791,322		
貸倒引当金	▲15,974	19,293,429		(2) 前受収益	154,500	945,822	
8 たな卸資産		39,991,099		9 賞与引当金		21,700,000	
9 立替	101,667,193			10 一年以内長期借入金		16,800,000	
貸倒引当金	▲608,783	101,058,410		流動負債合計			310,487,752
10 仮払金		854,076					
11 雑資産				固定負債			
(1) 前払費用	3,906,707			1 長期前受金		52,628,504	
(2) 未収収益	0	3,906,707		2 長期預り金		15,046,542	
流動資産合計			938,179,462	3 退職給付引当金		94,380,470	
				4 役員退任慰労引当金		5,230,000	
固定資産				5 修繕引当金		21,958,676	
有形固定資産				6 長期借入金		67,800,000	
1 建物	155,322,661			固定負債合計			257,044,192
減価償却累計額	▲121,116,821	34,205,840					
2 建物附属設備	25,306,744			負債合計			567,531,944
減価償却累計額	▲10,102,344	15,204,400					
3 構築物	35,084,007			【純資産の部】			
減価償却累計額	▲27,974,760	7,109,247		組合員資本			
4 機械装置	272,132,642			1 出資金		197,741,500	
減価償却累計額	▲157,988,553	114,144,089		2 再評価積立金		148,496	
5 車輛運搬具	20,849,637			3 利益剰余金		310,000,000	
減価償却累計額	▲20,142,350	707,287		法定準備金			
6 工器具備品	30,862,269			その他利益剰余金			
減価償却累計額	▲6,935,975	23,926,294		任意積立金			
7 土地		78,873,781		損失補填積立金		110,000,000	
8 森林				当期未処分剰余金			
(1) 所有林	74,131			当期剰余金	49,711,837		
(2) 分収林	5,753,240	5,827,371		前期繰越剰余金	12,859,343	62,571,180	
有形固定資産合計			279,998,309	4 資本準備金		1,478,850	
無形固定資産				組合員資本合計			681,940,026
1 借地権		10,420,295					
2 電話加入権		650,084		純資産合計			681,940,026
無形固定資産合計			11,070,379				
外部出資				負債・純資産合計			1,249,471,970
1 系統出資金		19,438,000					
2 系統外出資金		460,000					
外部出資合計			19,898,000				
その他の固定資産							
1 長期差入保証金		300,000					
2 預託金		25,820					
その他の固定資産合計			325,820				
固定資産合計			311,292,508				
資産合計			1,249,471,970				

令和8年度計画

令和8年度の計画は、中東情勢の緊迫化など国際情勢の不安定化による燃料費や輸送費の上昇は林業・木材産業にも影響が大きく、引き続き厳しい経営環境が続くことが想定されます。一方で、エネルギーの安定確保や脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの役割はさらに高まるものと考えられます。森林整備事業については、補助金等の確保が厳しい事業もあることから行政との連携を密にし、成熟した森林資源の主伐再造林を積極的に進めてまいります。特殊伐採事業については、組合員、地域の皆様の要望に沿った事業の推進により地域に貢献してまいります。木質ペレット燃料製造では、新たに増設した製造ラインを効率的に稼働させて計画的な製造と原材料の確保に努め、品質の安定した「ピュア1号」を供給するように努めてまいります。

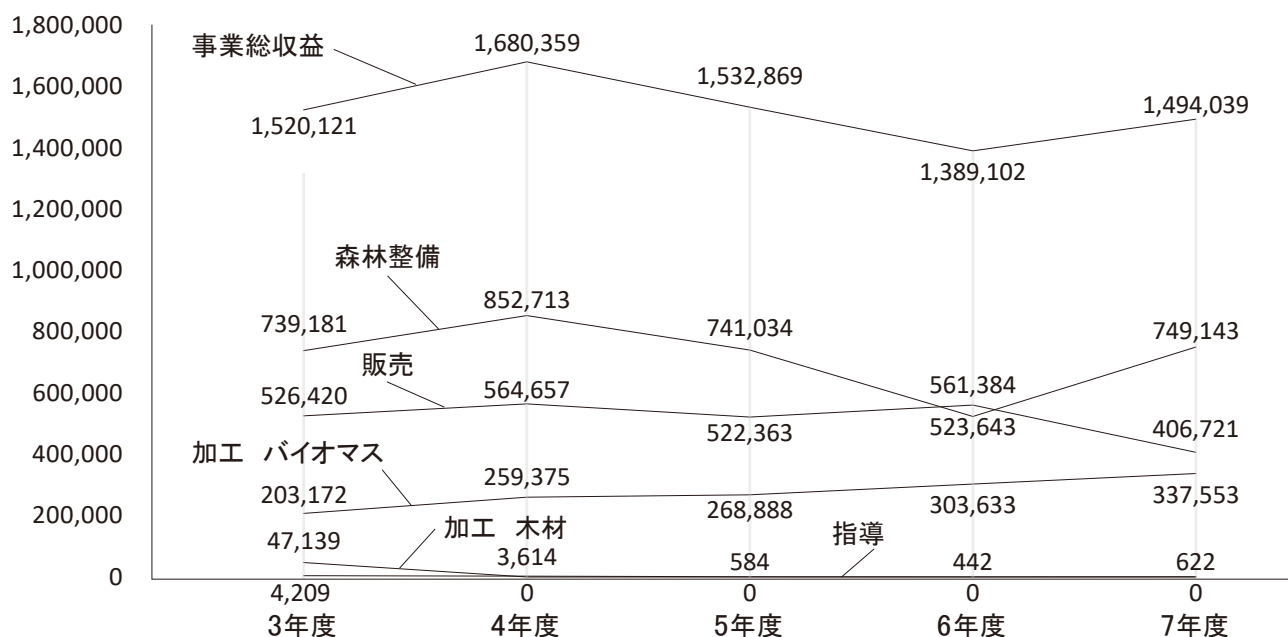
組合の行動指針「常に問題意識と自己改革の意識をもって 新たなことにチャレンジしよう」を念頭に、職員一人一人が更なる資質向上に努め、積極的に行動します。

受託事業を含む事業総取扱高は14億559万円、事業総利益1億4,623万円、事業管理費を差し引いた事業利益で1,723万円、未払法人税を差し引いた当期剰余金は1,905万円を見込んでいます。

部門別取扱高の推移

単位：千円

部 門		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事業総収益		1,520,121	1,680,359	1,532,869	1,389,102	1,494,039
指 導		4,209	3,614	584	442	622
販 売		526,420	564,657	522,363	561,384	406,721
加 工	木 材	47,139	0	0	0	0
	バイオマス	203,172	259,375	268,888	303,633	337,553
森 林 整 備		739,181	852,713	741,034	523,643	749,143

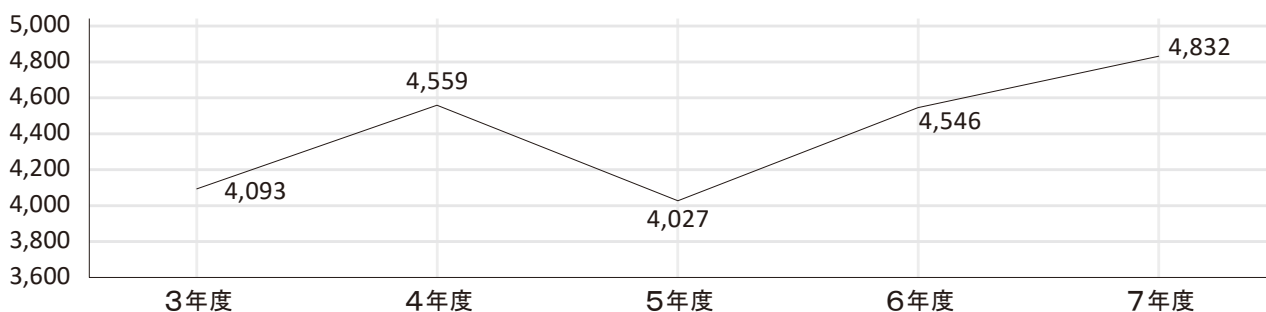


各部門の取扱高は、販売事業及び森林整備事業を中心に順調に推移しています。近年はバイオマス事業の取扱高が増加傾向にあり、木材資源の有効活用に寄与しています。一方で、長野県における森林整備関連予算の縮減傾向に加え、中東情勢など先行きが不透明な要素もあり、今後の事業環境は厳しさを増すことが予想されます。各部門の連携を図りながら、状況の変化に的確に対応し、安定した事業運営に努めてまいります。

ペレット取扱量の推移

単位：トン

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ペレット取扱量	4,093	4,559	4,027	4,546	4,832

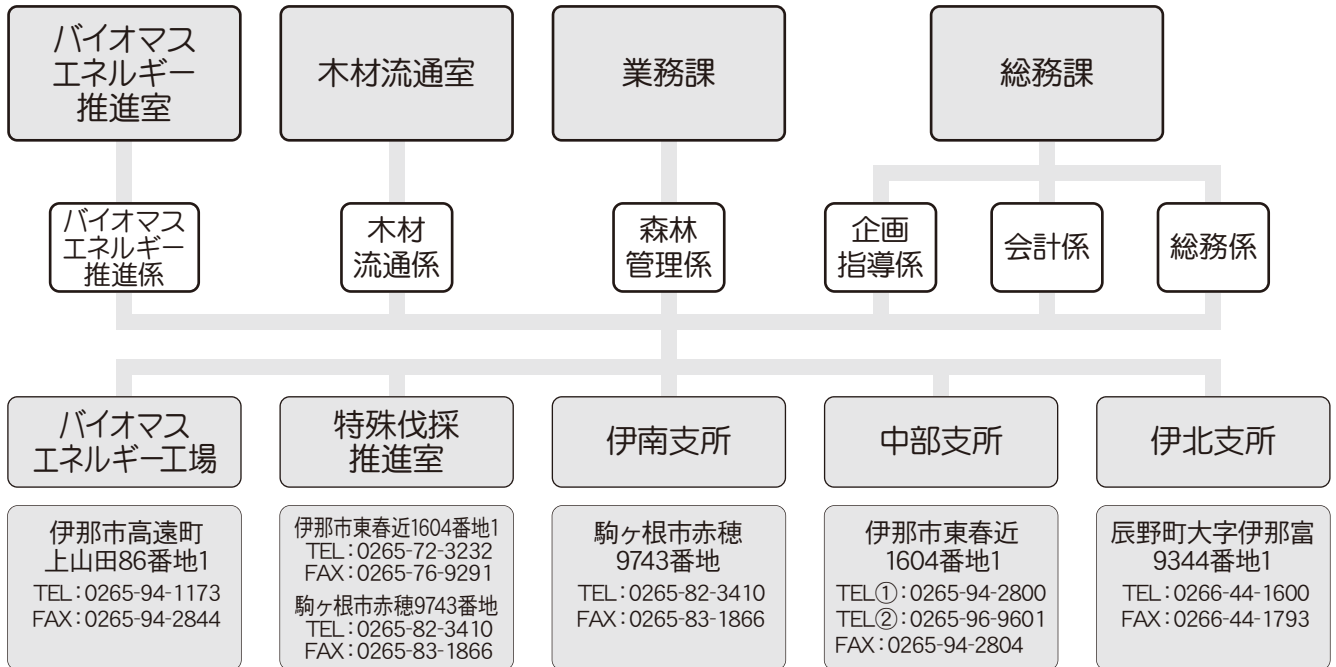


木質ペレット燃料取扱高は、木質バイオマス利用の普及を背景に堅調に推移しています。地域資源の有効活用と脱炭素社会の実現に貢献する事業として、今後も需要動向を踏まえながら安定供給に努めてまいります。

上伊那森林組合組織図

令和8年6月現在の運営組織図です。
 — ご用命・お問い合わせはお気軽に各所へお願いします —
 本所 (総務課・業務課・木材流通室・バイオマスエネルギー推進室)

伊那市東春近1604番地1
 TEL : 0265-72-3232 FAX : 0265-76-9291



当組合のホームページはこちらです。 <https://www.kamiinashinrin.or.jp/>



新 入 職 員 紹 介



倉田 祐明

令和8年1月よりバイオマスエネルギー工場でお世話になっております、倉田祐明と申します。幼い頃から山や川など自然に囲まれた環境で育ちました。

前職では小野酒造に勤務し、冬場は蔵人として酒造りに携わり、それ以外の時期は営業業務を担当しておりました。

旅行が趣味で全国各地を訪れましたが、改めて自然豊かな地元長野県の良さを実感しました。このたびご縁があり、上伊那森林組合で働かせていただくこととなりました。

これからは地元上伊那の自然と木の温もりを大切にしながら、仕事に励んでまいりますので、よろしく願いいたします。



有馬 啓起

令和8年3月よりバイオマスエネルギー工場でお世話になっております、有馬啓起と申します。出身は香川県ですが、登山が好きで自然豊かな長野県に住みたいと思い、

2年前に移住してまいりました。前職では、NC旋盤などを使用した金属加工業務に携わっておりました。

自然に接する中で、その環境を守り持続させる一端を担うことができたいと思い、このたび上伊那森林組合で勤務させていただくこととなりました。

まだ分からないことも多くありますが、一日も早く仕事や地域に慣れ、皆様のお役に立てるよう精一杯努力してまいりますので、よろしく願いいたします。



高嶋 貢

令和8年2月よりバイオマスエネルギー工場でお世話になっております、高嶋貢と申します。出身は宮城県ですが、妻の実家が高遠にあるご縁から、妻の母の面倒を見るため高遠へ移り住みました。

前職では大型ダンプや重機のオペレーターとして勤務しておりました。ご縁があり、現在はバイオマスエネルギー工場でグラブの操作などの業務に携わっております。

趣味はソフトボールで、夏場はグラウンドで汗を流しています。また、地区の高遠ばやしでは相生・多町連の指揮者を務めています。

皆さんが一生懸命働いている姿に刺激を受けております。私も早く職場の力になれるよう努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

令和7年度事業状況について各部署より報告します。

① 業務課

再造林の実績



当組合では平成30年より主伐再造林事業をスタートさせました。カラマツを植栽し、鹿の食害対策として侵入防止柵を設置し、今では樹高5mを超え幹はビール瓶程の太さとなり健全に生育しています。

木材は国産の貴重な資源でありエネルギーです。

次世代へ引き継ぐべく、今後も確実な再造林と健全な生育を基本理念として事業展開を進めていきたいと思えます。

② 伊北支所

団地紹介

団地名 下古田白山団地

所在地 箕輪町中箕輪下古田

作業内容 特殊地拵: 0.74ha

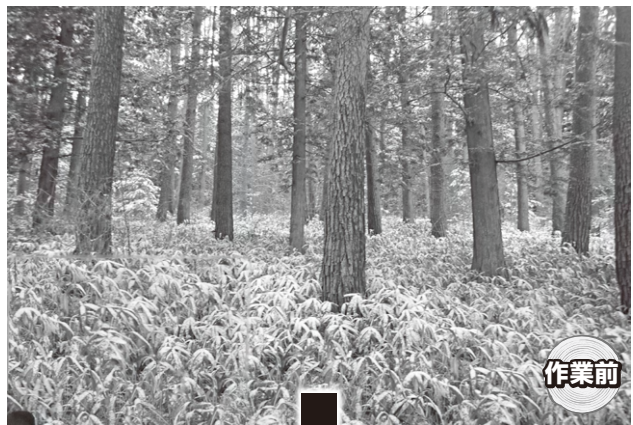
植栽木: カラマツ R8.4 植栽済

団地説明

下古田白山団地は、箕輪町中箕輪下古田地区の白山神社西側に位置し、5名の森林所有者による山林です。

施業箇所は樹齢83年生から103年生のアカマツ林であり、マツノザイセンチュウによる松枯れ被害の影響が懸念される箇所でした。森林所有者様並びに地域の皆様のご理解とご協力により、無事事業を実施することができました。

松くい虫被害対策は上伊那地域の喫緊の課題であり、今後も各市町村の計画と連携を図りながら、実効性のある森林整備を計画的に進めてまいります。



③ 中部支所

団地紹介

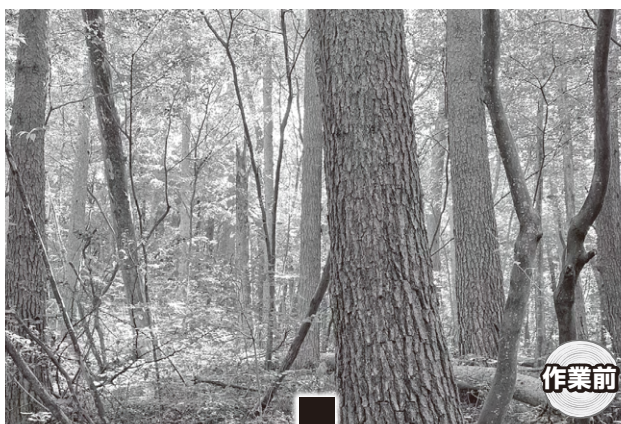
団地名 八ツ手②団地
所在地 伊那市手良
作業内容 特殊地拵：1.31ha
 (作業道：326m)

団地説明

八ツ手②団地は、伊那市手良八ツ手区の北側に位置し、八ツ手区有林ほか7名の森林所有者による山林で構成されています。

手良地区では拡大する松くい虫被害を抑えるため樹種転換事業を推進しており、八ツ手区においては今回を含めて2回当事業を実施しております。

八ツ手区では引き続き当事業を推進していく予定ですので、森林所有者様並びに地域住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、計画的に森林整備を進めてまいります。



作業前



作業後

④ 伊南支所

団地紹介

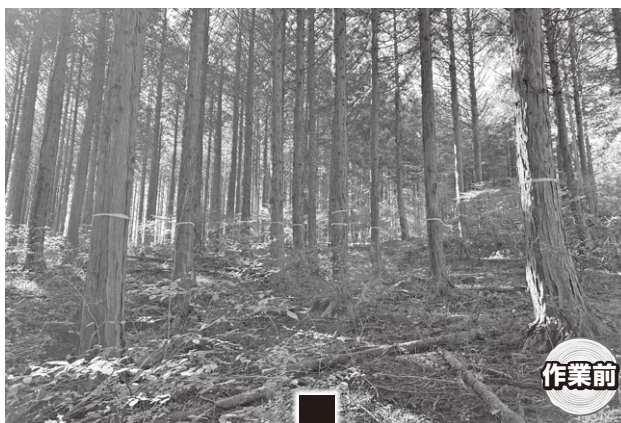
団地名 横沢団地
所在地 飯島町七久保
作業内容 間伐：10.82ha
 (作業道：823m)

団地説明

横沢団地は、飯島町西部の与田切川流域、横沢沿いに位置し、9名の森林所有者による事業地です。本郷区及び本郷自治会、本郷神社が植栽や下刈り等を行い、当組合でも一度間伐を実施しており、良質なヒノキが育ってきております。

今回は、素性の良い木を残し、主伐時に良材が多く生産できるよう間伐を実施しました。

今後は、より良いタイミングで間伐や主伐を行えるよう、木材動向等を森林所有者様へお伝えしながら、適正な森林管理を進めてまいります。



作業前



作業後

⑤ バイオマスエネルギー工場

令和7年度は販売数量が4,832トンとなり、過去最高の実績を上げることができました。

ピュア1号はこれまで(一社)日本木質ペレット協会の認証を受け高品質だと評価されていましたが、現在新たに日本農林規格(JAS)の認証を取るべく取り組んでおります。これからも「品質が安定しており、燃焼効率がよく、残る灰も少ない」という評価を引き続きいただけるように努めてまいります。

令和7年度の製造ライン増設もあり、令和8年度もさらなる増産を目標に、現在1日に約20トン生産しております。今後もライフラインの安定的な供給と品質管理に責任をもって努めてまいります。

それから、ペレット工場敷地内にペレットストーブ展示場があります。昨年度も新たに2台新規発売のストーブを設置いたしました。ペレットストーブは各社毎年少しずつ新たな機能が追加されますので、進化した機能の説明もさせていただきます。

見学は月曜日から土曜日の8時~17時で事前予約で対応しています。

お問合せ先

バイオマスエネルギー工場 ☎0265-94-1173 担当:竹内・小池



広報誌の配布方法の変更と参与委員制度の廃止について

当組合では、長年にわたり地区より選出していただいた参与委員の皆さまに広報誌「もりもり上伊那」の配布をお願いしておりましたが、組合員様の負担軽減と個人情報の保護を目的に、今号より配布の方法を変更させていただいております。

昨年12月の広報誌「もりもり上伊那」でのアンケート回答におきまして、今後も送付を希望される組合員様のみへ個別送付とさせていただきます。希望されない組合員様におかれましても、当組合のホームページ上にも広報誌の内容を掲載しておりますのでご覧いただけます。

また、令和8年4月27日に開催された第32回通常総代会において参与委員制度の廃止についても承認されました。今後は参与委員様の選出につきましては不要となります。参与委員の皆さまには、これまでの長きにわたるご尽力に対し心より感謝申し上げますとともに、今後とも当組合事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報誌に関するお問い合わせは本所総務課までお願いいたします。

木のお悩み、まるごとおまかせください!

⑥ 特殊伐採推進室

木の伐採から枝切り、頭止めまで、さまざまな樹木管理に対応しています。住宅周辺の危険木や大木の伐採も、安全に配慮しながら丁寧に施工いたします。竹林整備や竹の伐採などもおまかせください。現地の状況に応じた最適な方法をご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。



作業前



作業後

木のお悩み

伐採後の幹や枝、竹の処理まで一貫して対応いたします。移動式破碎機を使用し、現地でチップ化することで効率的な処理が可能です。搬出や片付けなど手間のかかる作業も、経験豊富なスタッフが迅速・丁寧に行います。ご不明な点もお気軽にご相談ください。

木材チップを販売します

伐採した木・枝をチップに加工して販売しています。このチップを法面や果樹の根元に敷き詰めれば、天然の草除けになります。軽トラック1台分(満杯)で税込1,100円のお手軽価格! 数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにご予約ください。



お問い合わせ

上伊那森林組合 特殊伐採推進室

担当/熊谷・飯島
(伊那市・辰野町・箕輪町・南箕輪村)
TEL.0265-72-3232

担当/高橋
(駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村)
TEL.0265-83-1887

組合員の皆様へお願い

組合員名義変更等について

組合員の皆様には、日頃から組合業務推進に対しご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。当組合も平成7年の合併以来31年を経過し、段階的に組織等の見直しを図っていくなかで、組合員名簿の整理を行っております。相続等ございましたら、お手続きをお願いいたします。

【ご記入について】

中綴じの「組合員名義変更届」・「出資金払戻請求兼組合加入申込書」(両面)へご記入ください。用紙は両面印刷になっています。お届出の時期により、どちらかのページが該当します。いずれも名義変更の手続きとなりますので、必要事項をご記入ください。

【ご提出について】

中綴じの購買品注文用紙が封筒を兼ねておりますので、そちらへ同封の上ご投函いただくか、お近くの本所・各支所へご持参ください。

その他、ご住所の変更や新規加入等も随時受け付けております。

手続きや書類等についてご不明点等ございましたら、お近くの本所・各支所へお問い合わせください。

相続登記が義務化されました

相続登記がされないため、登記簿を見ても所有者が分からない「所有者不明土地」が増加し、全国で約410万ヘクタールになると言われており、周辺の環境悪化や公共工事の阻害など、社会問題になっています。この問題解消のため、令和6年4月1日から相続時の申請が義務化されています。また、義務化されるより前に相続した不動産も対象になります(3年間の猶予期間があります)。不明な点はお近くの法務局にご相談ください。山林も対象です。

